

# 仮想化移行ツールキットで VM 移行を簡素化する

## 仮想化移行ツールキット：

- 代替のハイパーバイザーから OpenShift Virtualization へのガイド付き VM 移行のための独自のツールセットを提供します。
- すべての Red Hat OpenShift エディションについて、ワンクリックでダウンロードできます。
- Ansible Automation Platform と統合して、自動化された VM 移行を迅速化します。
- Red Hat コンサルティング・サービスにより、カスタマイズされた VM 移行オプションを提供します。

## 仮想化移行は気後れするもの

アプリケーションのモダナイゼーションへの取り組みでは、時間のかかる仮想マシン (VM) の移行など、エンタープライズにとって大きなハードルがしばしば発生します。クラウドネイティブな未来に移行したいという考えは魅力的ですが、現状を破壊してまでビジネス運営を危険にさらす価値があるでしょうか。クラウドネイティブ・アーキテクチャへの依存度が高まり、仮想化のベンダーロックインに関する懸念が高まる今、ビジネスリーダーと技術担当者はアプリケーション・ポートフォリオと移行計画についての重要な決断を迫られています。

仮想化移行ツールキットは Red Hat® OpenShift® に含まれるツールスイートで、先進的なハイブリッド・アプリケーション・プラットフォームへの VM 移行を単純化します。このツールキットによってダウンタイムが最小限に抑えられ、ビジネス継続性の維持とリスク削減が促進されるので、アプリケーション・ポートフォリオ全体で一貫したツールをより短時間で利用できるようになります。仮想化移行ツールキットは Konveyor Forklist を使用することで、組織が従来の VM 管理から先進的なコンテナネイティブ・アーキテクチャに移行する際の移行プロセスを単純化します。

## クラウドネイティブな未来への確かな道筋

### 重要なワークフローを自信を持って移行する

すべての Red Hat OpenShift エディションに含まれている仮想化移行ツールキットは、リスクとワークフローのダウンタイムを最小限に抑えながら先進的なプラットフォームへの VM 移行プロセスを容易にします。このツールキットは、移行プロセスを開始する前に既存のハイパーバイザーおよび従来の VM 構成に直接接続します。構造化されたプランを通じて、直感的なインターフェースを介して詳細な移行計画を作成、検証、実行でき、プロセスを最初から最後まで完全に制御できます。

仮想化移行ツールキットの主な機能は次のとおりです。

- ▶ **移行前の検証:** 仮想化移行ツールキット検証サービスは、各 VM に対して一連の Open Policy Agent ルールを適用し、移行速度を低下させる可能性のある潜在的な構成や互換性の問題がないかどうかを確認します。これらの確認により、移行でよくある失敗を未然に防ぎ、リスクと遅延を軽減できます。
- ▶ **ガイド付き移行計画:** 移行元プロバイダーの接続、インフラストラクチャのマッピング、計画の作成、移行の実行方法をガイドするステップバイステップのワークフローを使用して、移行プロセスをスムーズに進められます。この構造化されたプロセスによって複雑性が軽減され、前進するためのシンプルな道筋が提供されます。
- ▶ **VM の並列変換による大規模移行:** 大規模移行は、サポートされている移行ソース (Red Hat Virtualization、VMware、Red Hat OpenStack® Platform、vSphere 互換オープン仮想化アプライアンス (OVA)、Red Hat OpenShift など) で使用できます。複数の VM を並行して移行すると、[移行をより迅速に完了できます](#)。

▶ **ダowntimeを最小限に抑えた予測可能な移行:**仮想化移行ツールキットは、VM のニーズに応じてコールド移行とウォーム移行の両方をサポートします。最小限の計画的なカットオーバーを希望する場合、ウォーム移行によってデータ転送の大部分で VM を稼働させ続け、最終的にダowntimeを短時間に抑えます。通常、これらの移行は重要なアプリケーション専用であるため、速度を低下させることなく運用を維持できます。

▶ **ストレージのオフロードによる移行の加速化:**IP ネットワークではなくストレージアレイ上で VM を移行することで、VM の移行を加速し、ビジネスクリティカルなワークロードの中止を軽減します。[この機能](#)は、HP、NetApp、日立など、互換性のある認定ストレージパートナーで利用できます。

仮想化移行ツールキットの最新の機能について詳しくは、[製品ドキュメント](#)を参照してください。

VM を OpenShift Virtualization に移行することで、ユーザーは Red Hat OpenShift で標準提供されるクラウドネイティブ・ツールと先進的な原則を利用できます。デプロイ、スケーリング、監視のための一貫したツールセットを使用して、VM、コンテナ、サーバーレステクノロジーを管理できます。ユーザーは柔軟性と選択肢を確保しながら、クラウド環境への拡張や AI 機能の追加など、従来の VM ワークロードのモダナイゼーションを検討できます。OpenShift Virtualization は現在、Red Hat OpenShift Service on AWS、Microsoft Azure Red Hat OpenShift、Red Hat OpenShift on IBM Cloud、Red Hat OpenShift Dedicated on Google Cloud、および Oracle Cloud Infrastructure で利用可能です。スタンダードアロンの仮想化ソリューションをお求めの場合、Red Hat OpenShift Virtualization Engine は、Red Hat OpenShift Container Platform の実績ある仮想化機能のほか、VM のデプロイ、管理、スケーリングに特化した仮想化移行ツールキットを提供します。

## 大規模な移行と VM 管理の自動化

カスタマイズ可能な構成で大規模な移行を行う場合、Red Hat Ansible® Automation Platform を使用した、スケーラブルで自動化された VM 移行を活用できます。このソリューションは移行プロセス全体をオーケストレーションする自動化機能を提供し、手動構成を削減します。Ansible は仮想化移行ツールキットとシームレスに統合されるため、移行の開始と監視を自動化し、反復的なタスクをなくすことができます。移行を自動化することで、ユーザーはよりタイムリーでより正確な移行を大規模に行うことができます。Ansible Playbook を使用して、移行とスケーリングの取り組みのために再利用可能な構成を一貫してデプロイできます。

OpenShift Virtualization に移行した後、ユーザーは VM の継続的な監視、メンテナンス、適応を維持する必要があります。Ansible Automation Platform を使用すると、ヘルスチェック、パッチ適用、バックアップ、セキュリティリスク管理、未使用の VM の廃止など、VM ライフサイクル全体の Day 2 タスクを自動化できます。VM の移行後を担当するチームは、Red Hat OpenShift 上で実行されている VM のライフサイクルを自動化、管理、最適化できます。

## 移行プロセス全体を通じて信頼できる Red Hat の専門知識

Red Hat サービスは、Red Hat コンサルティング、Red Hat トレーニング、Red Hat テクニカル・アカウント・マネジメントを提供することで、移行プロセスの効率化と、長期的な成功に向けたプロセス変革を支援します。Red Hat コンサルティングのエキスパートは、カスタマイズされた段階的なアプローチを通じてお客様のチームとコラボレーションし、仮想化の目標を達成できるよう支援します。

**Red Hat 仮想化移行評価**は、移行を戦略的に準備するための最初のステップです。Red Hat コンサルティングは、既存の VM インフラストラクチャを分析し、VM ワークロードを検出してマッピングすることで、移行だけにとどまらない、VM のニーズに関する重要な知見を獲得します。この評価は、対象の仮想化環境用に設計されたハイレベルのカスタム・ソリューションと、OpenShift Virtualization への明確な移行パスをもって完結します。

そこからは、Red Hat コンサルティングが移行を成功に導くようチームをサポートします。Virtualization 移行ファクトリーは、仮想化移行ツールキットを使用して最初の VM ワークロードを移行し、VM が先進的なプラットフォーム上で稼働していることを確認できるようにします。

移行を円滑に進め、VM 移行後の成功を実現するためには、チームが新しいプラットフォームを運用するための適切なスキルを身につけ、初期移行後も継続的な技術的ガイダンスのサポートを得られるようになりますが重要です。Red Hat トレーニングと認定、テクニカル・アカウント・マネジメントなどの Red Hat サービスが[このサポートを提供](#)し、複雑性の低減、リスクの緩和、運用コストの削減を実現します。

## 今すぐ始める

- ▶ [仮想化移行ツールキットを使用した VM を移行の事例を見る](#)
- ▶ 従来の VM を先進的なハイブリッド・アプリケーション・プラットフォームに移行する方法を解説する [インタラクティブなデモ](#)をご覧ください。インタラクティブなデモの[フルライブラリ](#)でご確認いただけます。
- ▶ [先進的な仮想化移行戦略の構築方法について学ぶ](#)
- ▶ 仮想化移行ツールキットが VM 移行の効率化にどのように役立つかについて、引き続き学びましょう。[e ブックとドキュメント](#)をご覧ください。



## Red Hat について

Red Hat は、[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティング・サービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

**アジア太平洋**  
+65 6490 4200  
apac@redhat.com

**オーストラリア**  
1800 733 428

**インド**  
+91 22 3987 8888

**インドネシア**  
001 803 440 224

**日本**  
03 4590 7472

**韓国**  
080 708 0880

**マレーシア**  
1800 812 678

**ニュージーランド**  
0800 450 503

**シンガポール**  
800 448 1430

**中国**  
800 810 2100

**香港**  
800 901 222

**台湾**  
0800 666 052

f [fb.com/RedHatJapan](#)  
x [twitter.com/RedHatJapan](#)  
in [linkedin.com/company/red-hat](#)